

玉置 岳史 氏 学位審査結果の要旨

主査：上野 博夫

副査：螺良 愛郎、村川 知弘

肺肉腫様癌は肉腫瘍分化を示す稀な肺非小細胞癌の組織亜型である。肺肉腫様癌における肉腫様分化は上皮間葉移行（EMT）を介して生じると提唱されており、また EMT に Nanog が関与しているとする説もあるが、臨床検体についてそれらを検討した研究はこれまで殆ど無かったため、申請者は、2006年12月から2010年12月までの本学附属病院における12例の肺肉腫瘍様癌について、12例の肺腺癌と比較して EMT 関連分子の発現を免疫染色によって検討した。その結果、肺肉腫様癌では EMT 関連分子の Vimentin の発現亢進が認められ、一方上皮細胞マーカーの E-cad の低下が見られ EMT として矛盾しない変化が起こっていることが確認できたものの、他の EMT 関連分子の増加は認められず、また Nanog はむしろ発現低下していた。結論として肺肉腫様癌に EMT の関与が示唆されたものの Nanog の関与は証明できなかった。しかしながら本研究は稀な疾患である肺肉腫様癌の発症機序を、臨床検体を用いて検討した研究として重要であり、十分に学位に値すると考えられた。